



11月は「なかよし月間」でした。

今年も各クラスの廊下には、友だちの優しさや暖かさを感じた”なかよしの実”が一つ一つと色づいて、”なかよしの木”が見事に実りました。11/25日の参観日に見ていただけたと思います。「朝のあいさつ」「遊びに声をかけてくれたこと」「困ったとき文房具を貸してくれたこと」、一つ一つの実を眺めていくと、本当に小さなひとと言やしくさで、子どもたちは暖かく繋がれるのだと実感します。

児童集会でなかよし委員会のみなさんがつくった標語をきっかけに「なかよしカルタ作り」をした学年もありました。「縦割り清掃」、「縦割り遊び」もこの期間にあって、学年を超えたつながりも増え、今朝も一年生と五年生がいっしょにサッカーをしていました。



なかよし集会で“なべなべ底ぬけ”



馬嶋さんの銀メダル、ずっしりと重いです。

参観日のPTA講演会では、パラリンピックバンクーバー大会アイスレジャホッケー選手の馬嶋誠(まじま まこと)さんから、「他喜力」「頑

張る、より、顔晴る」こと、つまり他の人を喜ばせたい、他の人のためにがんばりたいと思うとき、人はすばらしい力を発揮できることを教えていただきました。そして、お話の後、そのすばらしい成果である“本物の銀メダル”を、子どもたち一人ひとりが持たせてもらい感動を新たにしました。

収穫に感謝して 各学年行事 1年6年やきいも交流会、2年やきいも大会、5年収穫祭、1年親子学習 e.t.c.



6年生に芋を入れてもらう? 1年生

天候の不順もあった今年ですが、5年生のもち米を始め、各学年の畑の作物は順調に育ちました。役員の方々を始め保護者の方々のご協力にも感謝します。



いいお餅になり、全校に配りました。

どく しょ じゅん かん 読 書 旬 間

12/1より10日間で、盛りだくさんの内容でした。朝読書の時間で、図書館は毎朝にぎわっています。活動の一部をお伝えします。

12/1(水)の児童集会から始まりました。図書委員会の皆さんがパネルシアター「ききみみずきん」を演じてくれました。パネルシアターでは前号で紹介した井口先生と3組さんも大活躍、15分休みのプログラムを二つ担当して、「みんなが笑って喜んでくれた。」とAさんは感想を話していました。毎年来てくださっている：小林いせ子先生とお話しネットワークの皆さんも2日、8日と本当にたくさんのプログラムを各学年に1時間づつ演じていただきました。担任の先生も入っての群読とか、紙芝居とか、本の伝え方も何種類もあって、飽きずに子どもたちは引き込まれていました。



“花いちもんめ”郡読は担任の先生も参加。



15分休み紙芝居

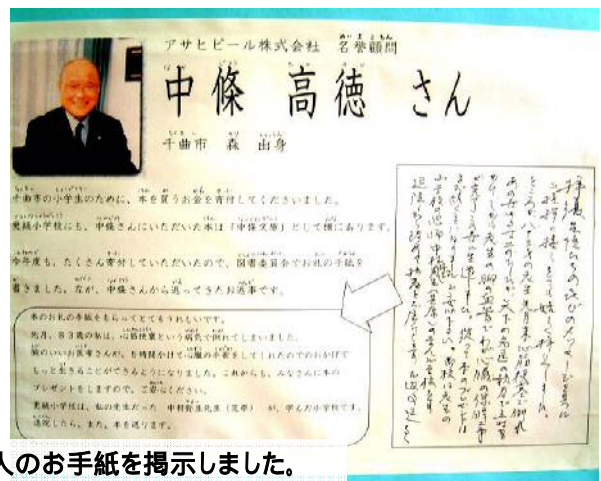
8日には、学校中の先生方による「お話の部屋」。本の題名だけ紹介して、誰が本を読んでもくれるかわかりません。それでも私の担当する部屋には低学年の皆さんが楽しみに来てくれて、真剣にお話を聞いてくれました。本当に子どもたちは本を読んでもらうことが好きです。

本を友だちに紹介する読書ゆうびんの活動もあります。校長室にも届きました。本、読書の楽しさに十二分に触れた10日間、週末親子読書にも取り組んでみてください。親子読書にお勧めの本は、家庭配布の「図書館だより4号」にあります。ご覧下さい。ホームページの以下のアドレスでも、ご覧になれます。

<http://www.chikuma-ngn.ed.jp/~sarashinael/otayori/57/file1.pdf>

本寄贈のお礼から

毎年市内の各学校図書館に本を寄贈して下さる「中條高德さん」と、ご自身著作の本をたくさん送って下さった「すずき大和さん」に児童がお礼状を送ったところ、共にお返事をいただきました。中條さんは入院中にもかかわらずの返礼でした。小学校の恩師が更級村芝原出身の方だったことも書き添えてあり、お見舞いと図書委員のみなさんがまた活動を始めています。次号で報告いたします。



図書館にお二人のお手紙を掲示しました。